



# 図書室だより

## ＜開成町民センター図書室情報＞

電話 ▶ ☎20-4742  
 開室時間 ▶ 火～金曜日：9時30分～20時30分  
 土・日・祝日：9時30分～17時  
 休室日 ▶ 毎週月曜日  
 貸出冊数は6冊まで、貸出期限は2週間です。  
 図書室が発行している「新しく買った本のリスト」と「あじさいつうしん」はHPからもご覧いただけます。



毎月1日は町民読書デー、  
ファミリー読書デーです！



## おすすめ本

### 『明治のナイチンゲール 大関和(おおぜきちか)物語』

田中 ひかる 著  
 出版：中央公論新社



日本の近代看護の草創期に大きく関わった女性、大関和(1858～1932)の生涯が書かれています。2026年春から放送のNHK連続テレビ小説「風、薫る」の主人公の原案本です。明治時代、日本に伝わったばかりの西洋式の看護学を学び、生涯をかけて看護婦の技能の向上と制度化に努めた大関和と、彼女を支えた鈴木雅。当時の常識や偏見にも負けず、新しい道を切り開いていく物語です。

## 新しく購入した図書

### 一般書



◀ 『明日、あたらしい歌をうたう』 角田 光代  
 『夜明けのハントレス』 河崎 秋子  
 『きょうの枕草子』 最果 タヒ  
 『ルカとチカ』 長野 まゆみ  
 『山田太郎の話』 水沢 秋生

### 児童書



◀ 『せいかいはすきであふれてる』 大森 裕子  
 『なぜ地球は丸いの?』 河野 哲也  
 『富士山と生きている』 ふくだのぞみ  
 『もぐれっしゃ』 もとやすけいじ  
 『できるよ』 ハイゴー・ファントン

## サポセンNEWS

町民センター2階「開成町民活動サポートセンター」(通称、サポセン)に利用登録をしている団体の活動を紹介していますが、今回は特別編として協働の取組を紹介します。

問 地域防災課 ☎84-0326

### 協働のまちづくり交流会(ワールドカフェ)を開催!

多くの人が「居場所」に関心を寄せる中、「居場所づくり」をテーマに交流会を開催しました。昨今、自治会館を拠点とした活動が進む一方、顔ぶれの固定化や自分に合った居場所を求める声が課題となっています。今回は、異なる立場のメンバーで意見を交わすスタイルで交流会を実施しました。多くの参加者から「新たな視点を得られた」「楽しく話せた」と好評の声をいただきました。交流会を通じて、公益活動を行う団体・個人が互いを知る機会になり有意義な時間となりました。町では、今後も楽しみながら地域の交流を深める場を企画していきます。



### サポセンからのお知らせ

サポセンに利用登録して地域活動に参加してみませんか。登録をすることで、他団体との交流や会員募集の情報発信などメリットがたくさん！※登録には条件があります。

サポセン利用登録はこちらから▶



## 子育てナビ

### 子どもが求めている大切なこと

問 子ども課 ☎84-0327

子どもが健やかに育つためには「子どもが求めていること」をちゃんと感じて、応えてあげることが大切です。

### 「子どもが求めていること」を大切にすると…

#### 安心感の獲得

安心感は人を信じることにつながります。温かい雰囲気を受け止め、言葉をかけましょう。

「おかえり」「がんばったね」などの声をかけてあげよう！



#### 自立へのつながり

抱っこしてあげたり、目を見て話したり、一緒に笑ったりすることで、子どもは「自分は愛されている」と実感できます。

「好きだよ」「あなたがいてくれて嬉しい」という気持ちは、すべての子どもにとって必要だよ！



子育ては「完璧」でなくていいんです。一番大切なのは「あなたを大切に思っている」と子どもに感じさせること。一緒に笑ったり、泣いたりする中で子どもも保護者も一緒に成長していきます。また、子育ては家族だけの役割ではありません。地域全体で子育てに関わり、私たち一人ひとりができることから始めてみませんか？



子ども課 保健師

### 子どもの思いを大切に

#### 自分らしさ、「やりたい」「知りたい」を尊重しよう

子どもの個性や好きなことを尊重してあげると、自信につながり、自発性や主体性を伸ばすことができます。「子どもが求めていること」は「親が何でもやってあげる」とは少し異なります。0歳・1歳でも「自分でやりたい」気持ちを持っています。「すごいね!」「やってみよう!」などの応援の言葉で子どものやる気を育てましょう。



#### 見逃しがちな子どもの声にも目をむけて



子どもは、言葉に出さず欲求を表すことがあります。「泣いている理由がわからない」「ずっとおとなしい」は欲求が隠れているかもしれません。子どもをよく観察して、スキンシップを増やしたり、少し余裕をもって時間を一緒に過ごしたりしてみましょ。

## 元気だより

### 「地域が支える これからの中学校部活動」

問 文命中学校 ☎83-1386



町では、令和6年度から休日の部活動の地域展開を進めており、県内でも先進的な取組として注目されています。今年度は、女子ソフトテニス部、軟式野球部、女子バレーボール部を地域へ移行し、男子ソフトテニス部には部活動指導員が配置されました。これにより、休日のすべての部活動で、生徒たちが経験豊かな地域の指導者から質の高い指導を受けることができるようになりました。女子ソフトテニス部に所属する市川さんは「指導者の方が明るく優しく、基本をしっかり教えてくれるので、ソフトテニス

がもっと楽しくなりました」と語り、野球部に所属する武内さんは「若いコーチもいて、新しい視点をもらえるのが楽しみです。顧問の先生とは違った距離感で、オンとオフの切り替えもできていると感じています。『部活動』ではなく『野球』ができることを期待しています」と目を輝かせていました。様々な指導者と関わることで、生徒たちはスポーツや文化活動に多面的に触れることができ、自分の将来を考えるきっかけにもつながります。今後も、学校の先生方と地域の指導者が連携し、充実した活動へと発展させていきます。

「元気だより」では、町の園・学校の様子をお届けします。